

鴨池コミュニティ 公益財団法人 慈愛会

# じあいコミュニティ 掲示板

健康・福祉・文化・学び × みとめあい、かかわりあい、ささえあう町 鴨池 ~地域のみんなど一心団結するさかもいけ~

令和4年6月 鴨池校区コミュニティ協議会と(公財)慈愛会は包括連携協定を締結しました。

公益財団法人 慈愛会 今村総合病院 今村総合病院HPはコチラ▶

## 「なぜ紹介状が必要な？ 病院と診療所の上手な使い分け」



～「近いから」ではなく「適切だから」選ぶ医療へ～

国の医療は必要な医療を必要な人に届けるための大切な仕組みです。今回は、病院と診療所の違いや役割について、慈愛会の施設をつかってできるだけわかりやすくご紹介します!(^^)!



### ① 病院と診療所(クリニック)の違い

<ベッド数による違い>

#### 診療所(クリニック)

- ・ベッド数:0~19床
- ・身近な医療(風邪・生活習慣病など)
- ・「かかりつけ医」として継続的に診る



まず最初に相談する場所 例:かごしまオハナクリニック、七波クリニック、高麗町クリニック、慈愛会クリニックなど

#### 病院

- ・ベッド数:20床以上
- ・検査・手術・入院など専門的医療
- ・重症・緊急対応



紹介を受けて高度な医療を行う場所 例:今村総合病院

※200床以上の病院ではかかりつけ医からの紹介状を勧めています。(厚労省)

### ② なぜ紹介状が必要な？

大きな病院に軽い症状の方が集中すると...

- ・重症患者の対応が遅れる
- ・救急が混雑する
- ・医師の負担が増える



その結果、本当に必要な人が医療を受けにくくなる  
そのため日本では「まず診療所 → 必要なら病院へ」という流れ(地域医療の役割分担)になっています。

### ③ 診療所(クリニック)にもいろいろある

#### 一般

風邪・生活習慣病など幅広く対応

#### 専門

皮膚科・整形外科・眼科など

#### 在宅医療

訪問診療を行う



症状に合わせて選べるのが特徴

### ④ 病院も役割が分かれています

<機能による違い>

特定機能病院	高度な医療の研究や提供を行う400床以上の病院
地域医療支援病院	紹介患者へ医療を提供し、地域のかかりつけ医を支える200床以上の病院
一般病院(今村総合病院など)	一般的な医療を提供する20床以上の病院で、病院の大部分があてはまる
精神科病院(谷山病院など)	精神病床のみを有する病院

※その他、臨床研究中核病院としての役割を担っている病院もあります。

同じ「病院」でも役割は違う

### ⑤ 日本の医療制度の考え方

日本の医療は「誰でも必要な医療を受けられる」ことを大切にしています。

そのため  
・役割分担 ・紹介制度 ・費用の調整  
が組み合わされています。

#### まとめ

困ったときはまず  
**かかりつけ医(診療所)へ相談**

必要に応じて  
**適切な病院へ紹介**

この流れが地域全体の医療を支えています。必要ときに頼っていただける地域の病院でありたいと考えています。地域の医療機関と連携しながら、これからも地域医療を支えていきます。

救急は24時間365日対応しており、地域の皆さまが困ったときに安心して頼っていただける病院を目指しています。

万が一への備えを地域一丸で!

## 南消防分団による地域防災訓練



令和8年5月17日(日)南消防分団による地域防災訓練が行われました。鴨池新町市営住宅の公園には小さい子どもたちから高齢の方まで30名程が集まり、まずは消防分団による模擬演習訓練が披露されホースを繋ぎながら迅速に放水に取り掛かる様子に緊張感が高まりました。その後住民の皆さんが実際に消火器を使う体験が行われ、戸惑いながらも「火事だー」と声を出し、真剣に取り組んでいました。子どもたちには、クイズ形式で防災知識を学ぶ時間もあり、正解の合図「ナイスよっこり〜!」には住民の皆さんにも笑顔が見られ、防災に必要な互助のための交流の場としても良い機会になったのではないのでしょうか。今回の防災訓練の主催者である南消防分団の谷川満分団長は「災害は、忘れたころやってくるとうよく言われますが、万が一の時に備え、継続して防災訓練に参加する事が大切です。」と話されていました。(広報部会)

笑顔いっぱい!

## 令和8年度 第1回 子育てサロン「いないいないばあ」開催

5月13日(水)鴨池校区社会福祉協議会は真砂福祉館において、今年度最初となる子育てサロン「いないいないばあ」が開催されました。今回は、読み聞かせグループ鴨池小学校「絵本の時間」の皆様をゲストにお迎えし、絵本の読み聞かせや手遊びわらべ歌などを披露していただきました。目と耳、そして全身をいっばいに使う楽しいプログラムに、はじめは不安そうにしていた子どもたちも次第にリラックス。最後には歓声をあげたり、手をパチパチ叩いたり、会場はたくさんのニコニコ笑顔に包まれました。また、お母さん同士の情報交換の時間も設けられ、育児の悩みを共有するなど和やかなムードでの新年度スタートとなりました。(鴨池校区社会福祉協議会)



地域の見守りに感謝!

## 鴨池南安全パトロール隊の紹介

5月12日(火)、鴨池小学校体育館にて、「鴨池南安全パトロール隊」の紹介が行われました。現在18名が所属する同隊ですが、この日は8名の隊員が参加し、全児童の前で一人ずつ紹介されました。青手木隊長は、「交通ルールを守って安全に登下校してください。青パト隊の人を見かけたら、元気に声をかけてくださいね。」と子どもたちへ優しく語りかけ、児童代表の日高碧さんは、「いつもありがとうございます。特に1年生はまだ入学したばかりでわからないこともあると思うので、見守りをよろしくお願ひします。」と感謝の言葉を述べました。(広報部会)



歴史を紡ぐ! 鴨池で

## 綿花栽培体験教室開催



幕末の鴨池校区には綿花から糸を紡ぐ紡績所があり、周囲で綿花を栽培していた歴史にちなんで、ティスカバーかもいけは4月29日(水)真砂福祉館にて綿花栽培体験教室を開催しました。まずは栽培体験に先立ち、綿花についての講話をみんなで受講し、綿花に関する様々なことを勉強しました。その後、本町公園でポットに土を入れ、その中に種をまき、最後は集合写真を撮り、体験会を終えました。種から芽が出るのが出ないのか。とても楽しみです。(ティスカバーかもいけ)



歴史を学び、地域の絆を再確認! 鴨池地区民生委員児童委員協議会が日本赤十字社を見学

鴨池地区民生委員児童委員協議会は5月12日(火)民生委員・児童委員の日になんで日本赤十字鹿児島支部を訪問しました。5月8日は赤十字を設立したアンリ・ジュナンの誕生日で世界赤十字デー、5月12日はナイチンゲールの誕生日でもあります。また、西南戦争の負傷者救護を目的に博愛社(日本赤十字社の前身)が設立されてから150年となります。赤十字社の活動や歴史を聞いた後、災害救急物資が保管されている倉庫を見学。防災セミナーでは自助・共助を高めることを学習して「近助」が大切だと再確認した研修となりました。(鴨池地区民生委員児童委員協議会)

